

さらに広がる社会連携・社会貢献

本学では、デザインとアートにまたがる専門領域の強みを生かし、地域社会や企業とともに、企業経営や地域活性を図るため、本格的な産官学連携プロジェクト『KDUプロジェクト』を進めてきました。学生たちは、このようなプロジェクト、プログラムやワークショップへ参加し、刺激を受けながら制作や研究活動をしています。近年では、年齢、性別、能力、国籍など個人の特徴にかかわらず、すべての人が快適に利用できるように、製品や建造物、生活空間などをデザインする「ユニバーサルデザイン」という視点から、神戸市との連携や本学併設置校の大阪商業大学との共同研究なども進めています。また、デザイン協定を締結した神戸市は、昨年10月、名古屋市とともにアジアで初めて、ユネスコ（国連教育科学文化機関）の「デザイン都市」に認定され、本学の活躍ステージがさらに広がっています。

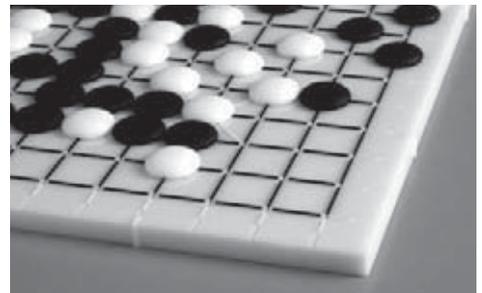
社会連携の取り組み紹介

▼UGプロジェクト ユニバーサルデザイン 『碁盤・碁石の新開発』

本学と本学併設置校の大阪商業大学アミューズメント産業研究所及び日本障害者囲碁普及会との共同で一昨年から取り組んでいるプロジェクトは、大阪商業大学谷岡学長の「ユニバーサルデザインの碁盤をつくろう」の掛け声でスタートし、昨年5月に念願の試作品が完成しました。

新作の外観は、通常のものとはほぼ同じですが、碁盤の線には凹凸が付けられ、石を打つ場所には穴が開いています。一方、碁石の裏面にはピンが付いており、打碁時にはこの穴にはめ込むとカチッという音がするため、自身も対局者も安心できます。また、碁石の表面に凸部分があるかないかで白か黒を感じとれる工夫も施されています。

囲碁は長い歴史を持ち、世界中で楽しられているボードゲーム。今後はネットによる空間を超えた対局や量産などの実現に向けて、更に改良中です。



▼本学ファッションデザイン学科学生が制作した古着素材を使った新しい衣装とエコバックを展示

at 神戸市 ユネスコ デザイン都市認定記念イベント
「KOBEDesignFesta2008」

昨年11月、神戸市主催で開催されたこのイベントに、本学ファッションデザイン学科の学生が制作した、古着素材を使った新しい衣装とエコバックを展示。衣装は色鮮やかなネクタイと古着の袖を重ね合わせて作ったワンピースで、エコバックは古くなったジーンズ生地を使ったものや色々な用途によって形が変えられるものなど、学生にしか思いつかない独創的な作品約50点を展示しました。会場に訪れた人々からは、どこからこの発想が出てくるのかびっくりさせられた、購入することはできないのかなど、あたたかい声が多く寄せられました。



▼神戸ルミナリエのポスターとグッズのデザインを本学ビジュアルデザイン学科学生がデザイン

昨年12月に開催された「第14回神戸ルミナリエ」のメインポスターとオフィシャルグッズのパッケージデザインを本学ビジュアルデザイン学科の学生がデザイン。これまでのポスターには前年の写真が使用されていましたが、今回のデザインは金色のドットを使っており、今までにない斬新なデザインだと多くの方々に好評をいただきました。これら金色のドットは、夜空に輝く希望の光を表現し、一つひとつのドットは、市民の命のきらめきと復興の象徴を表現。震災を語り伝えるイベントとして、多くの人に親しまれ、震災を忘れないでほしいという願いが込められています。また、オフィシャルグッズの販売や募金活動ボランティアにも参加し、貴重な体験をすることができました。



Contents

- 本学の社会連携・社会貢献
- 開学20周年記念事業、キャンパスニュース
- 学生フォーラムNEWS
- キャリアセンターだより
- 卒展案内
- まなび掲示板
- 国際交流・教育後援会のお知らせ

開学20周年記念式典開催

平成20年11月15日（土）、本学の開学20周年記念式典が吉武記念ホールにおいて開催され、来賓、学園関係者、卒業生、在学生等360名の方々の出席のもとに、開学20周年を祝いました。

式典は、記念式典と記念講演会の二部構成で実施され、記念式典では齊木崇人学長が『今、時代は激動の時にありますが創立20周年を期に、私たちは「芸術工学」の教育と、研究活動の「経験と蓄積」を基礎に、来るべき時代や社会の要求に、効率よく反応する時が来たと思っています。より、ローカルに「地域社会に貢献し」、加えてグローバルに「地球社会と連携する」、その両者をつなぐ「デザインとアートの知」の創出がこれからの「神戸芸術工科大学」のめざす方向でもあります。今後、全力を挙げて、教育・研究活動、地域貢献及び国際貢献にまい進します。』と挨拶がありました。引き続き、谷岡一郎理事長、矢田立郎神戸市長（神戸市副市長梶本日出夫氏による代読）、本学の海外協定校6大学の紹介と協定校を代表して北京理工大学 張乃仁 設計芸術学院長の挨拶が行われ、式典は終了しました。



第二部の記念講演会では、杉浦康平名誉教授による「二にして一、一にして多」を演題に約1時間の講演が行われました。映像と太鼓の音で始まった講演は、二つで一つの和を示すといわれる火焰太鼓のデザインの中に使用されている「月と太陽」、「鳳凰と龍」等、多くの「アジアのかたち」の映像が多彩な表現方法を駆使して紹介されました。杉浦名誉教授の講演に続いて、黄國賓大学院助手制作の映像作品「太極を聴く」（吉武賞受賞作品）が上映されました。



午後4時からは、KDU-Netと大学との共催で「芸工大のハタチのお誕生日会」をコンセプトに「おかえりなさい」と銘打った懇親会が体育館で開催されました。卒業生だけでなく、退職及び異動された教職員の出席もあり、学生フォーラム委員会のオープニング企画や神戸市看護大学のコーラス隊による合唱、ファッションショーなども行われ、会場は大いに盛り上がり、盛況のうちに終了しました。



キャンパスNEWS

岡部教授デザイン「小田急ロマンスカー・MSE」が「ブルネル賞」と「グッドデザイン賞」を受賞！

デザイン教育研究センターの岡部憲明教授が、デザイン設計に携わった「小田急ロマンスカー・MSE」が鉄道関連の国際デザインコンペティションである「第10回ブルネル賞」において「車両部門・奨励賞」を受賞しました。また、「2008年度グッドデザイン賞」も受賞しました。

首都圏の地下鉄に乗り入れる特急ロマンスカー60000形MSEの車体色には澄んだ青空、輝く海原のイメージを喚起させる透明感のある青、フェルメールブルーの色彩を採用し、内部空間においては、朝夕のビジネス通勤特急車に相応しい落ち着いた雰囲気を持つとともに、週末の観光特急としての楽しさも持つ明るくソフトな室内環境を創り出すことを追求しています。フェルメールブルーの車体は特急車に相応しいきっぱりとした流線形の先頭車、全体をフルハイトの一体としてまとめたヴォリューム感が地下鉄構内から都市景観、自然の風景の中を走り抜け、日々の鉄道の移動空間の楽しさと豊かさを利用者と沿線の人々に伝えていきます。



「日中友好おとな服ファッションショー」を開催

「日中友好おとな服ファッションショー」を昨年10月14日（火）、中国、北京の中国人民対外友好協会ホールで行いました。世界的規模で高齢化が進む中、ファッションデザイン分野においても今後増大すると予測されるシニア世代のデザイン研究が望まれています。中でも中国では、日本の10倍である13億人を有し、シニア世代は、2020年には6億人になると予測されています。

今回の企画は、日中の「おとな服」ファッションを通じて生き生きとした生活ができることを目的にするとともにアジア地域の友好や活性化を踏まえて、日中のファッションデザイン分野の研究者およびデザイナーが共同企画したものです。日本と中国の服飾文化交流のもと、テーマを「日本」とし日本の文化や伝統を自らの視点から考察、本学ファッションデザイン学科の学生有志16名と大学院生、教員がデザイン提案した作品を、北九州、中国の方々とのコラボレーションで披露されました。



デザインに役立つ情報サイト「新図書館ラボ | たのしむ図書館、つくる図書館」を公開

「新図書館ラボ | たのしむ図書館、つくる図書館」は本学が運営するデザイン&アート情報満載のポータルサイトです。ウェブサイトに展覧会やイベントの情報を載せるのが当たり前の時代、これからの図書館は本やDVDを通じて情報を提供するだけでなく、インターネット上に点在する情報もいち早く整理して、学生の皆さんの情報入手を助ける必要があります。「見て面白い」「知って役立つ」、そんなデザインとアートの厳選情報を日々配信していきますので、こまめにウェブサイトをチェックしてください。「展覧会に出品する」「コンペで受賞した」等、皆さんからの情報もお待ちしています。

アドレス：<http://shintoshokanlab.kobe-du.ac.jp/>

神戸芸術工科大学オフィシャルコミック誌『TOBIO』創刊!!

昨年11月20日、太田出版より、メディア表現学科まんが・アニメーション専攻の教員及び3年生によるまんが誌『TOBIO』が創刊されました。

掲載作品は全て学生のオリジナル作品で、教員たちも特集「初心者のためのまんが家入門」に参加、メディア表現学科の講義について、まんがや文章で一般読者向けに公開しています。学生作品もカフカや梶井基次郎にインスパイアされた作品、セリフが一切ない動きのみの作品など、多彩な内容となっています。

詳細は太田出版のHP、購入はアマゾンで可能です。



新図書館ラボ

たのしむ図書館、つくる図書館

アート&デザイン情報 | ウェブ検索 | ラボラトリー | カフェ | about

01/08/2009

Dropin 階内内の諸段階...せんだいメディアテーク

せんだいメディアテークで2008年春から行われている5層チューブ再開発計画の第3弾「Dropin 階内内の諸段階」が始まります。2009年1月13日（火）～3月16日（月）

YouTube...Good Design Expo 2008 Talk part2

2008年8月22日～24日に行われたGood Design Expo 2008のオープニングトーク「デザインが導く明日、デザインを導く多カラ」の映像。プレゼンターはグッドデザイン賞審査委員の岡嶋朋子さんと栗田文江さん。

YouTube...Good Design Expo 2008 Talk part1

2008年8月22日～24日に行われたGood Design Expo 2008のオープニングトーク「デザインが導く明日、デザインを導く多カラ」の映像。プレゼンターはグッドデザイン賞審査委員の岡嶋朋子さんと栗田文江さん。

01/07/2009

中村勇吾へのインタビュー...NIKKEI NET

NIKKEI NETのIT PLUS!にウェブデザイナー・中村勇吾さんへのインタビュー記事が掲載されています。

ユネスコ登録に向け創造都市推進室を新設...金沢市

金沢市がユネスコの創造都市ネットワーク登録に向けて「創造都市推進室」を新設すること、市民市はクラフト&フォークアート分野で申請書を提出している。

専門家展「雲とねずみとぼくらのオペラ」...ピンポイントギャラリー

神戸芸術工科大学ビジュアルデザイン学専攻教授の専門家展「雲とねずみとぼくらのオペラ」が開催されます。

人気のある記事

今日:

- Dropin 階内内の諸段階...せんだいメディアテーク
- about
- 雑誌の年の「本屋」...「Real/Design」2009年1月号
- YouTube...Good Design Expo 2008 Talk part1
- YouTube...Good Design Expo 2008 Talk part2
- 長谷川祐子...インタビュー動画
- 新棟工事の定点観測...武蔵野美術大学美術資料図書館
- 北欧スタイルのレストラン「ヘルシンキ・ペーオリ」...報告

神戸芸術工科大学
KOBE DESIGN UNIVERSITY
神戸芸術工科大学図書館

学生フォーラムNEWS

▶学生フォーラム委員会次年度役員募集!

学生フォーラム委員会では、学内行事の企画から運営、クラブ・サークルの活動支援などを行っています。本年度は毎月一回学内を清掃する「クリーンキャンペーン」を実施するなど、大学全体を巻き込んだ活動に力を入れています。

学生フォーラム委員会に入ると、どんなものが得られるのか…?という方もおられるかと思いますが。クラブやサークルに所属しても可能なことではありませんが、自分の所属学科以外の人と共に活動できることが、学生フォーラム委員会に入ることによって得られる利点の一つです。

委員会では行事の運営を行うなど、学生をはじめ、教授や職員の方々や、クラブなどの学生団体との交流の機会にも恵まれています。

大学では学問に励むことも大事です。また「いろんな人と出会い、意見を交わすこと」も、大学で経験できる大事なことだと言えるでしょう。

そんな貴重な経験がよりたくさん詰まった学生フォーラム委員会に、あなたも入ってみてはどうでしょうか。

他にも伝えたいことがたくさんあります。興味のある方は是非、食堂下の学生フォーラム委員会を覗きにきてください。

学生フォーラム委員会 会長



定例会の様子

▶大学祭「闘-BATTLE-」をテーマに開催 2008.10.18~19

本年度の芸工祭は、初の試みとして企画ごとに優勝した学科に得点が入る「6学科対抗」形式で行い、その結果、テーマ「闘-BATTLE-」にふさわしい熱い芸工祭になりました。

メインのコンペ企画「LIVE ART BATTLE」と「セレンディップコンペティション」では齊木学長、多くの教授の方、来場者の方に投票して頂きました。コンペ作品も含め、学内での様々な作品展示は来場者の方に好評でした。また、ゲストのファニートンボさん、新聞女さんのパフォーマンスでは、会場が盛り上がり、皆さんに楽しんでもらいました。多くの方の協力のおかげで約2500名の方に来場して頂くことが出来、私達大学祭実行委員会は大きな達成感と共に芸工祭を終えることが出来ました。

企画運営、参加、その他、芸工祭に協力して頂いた皆様本当にありがとうございました。

来年度の芸工祭を作り上げてくれるスタッフ(実行委員)を募集しています。

大学祭実行委員長 熊谷いずみ



クラブ紹介

■バレーボールサークル

神戸芸術工科大学バレーボールサークルは現在約50名のメンバーで、週2回男女混合で活動している学内で一番大きな団体です。毎週必ず多くの人が集まりバレーボールを楽しんでいます。

メンバーのほとんどが大学からバレーボールを始めた人達ばかりです。今年の新入生は全員初心者でした・・・。

しかし、年に一度の夏合宿のあと、見違えるように上達しました。上達していく後輩を見てると『バレーボールが好きなんだな』って感じます。今では、いつ追い抜かれるか楽しみでもあり、不安でもあります。

バレーボールが好きだから、楽しめる、そんなサークルがここにある・・・。

僕らの合言葉・・・『We Love Volleyball!!?』。



◆ 薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ」 ◆

次の世代を担う大学生や高校生が大麻を自宅などで栽培したり、キャンパス内で売買し、吸引したなどとして逮捕される事件が相次いで発生しています。

学生のみなさんは、薬物の乱用の恐ろしさを再度認識し、誘惑に負けない理性を持ち、大学生として、人間として良識ある行動をとるように強く願います。

薬物乱用を防止するためには・・・

(一回だけでも薬物乱用になります)

- 薬物乱用の危険性は身近にあり、自分には関係ないと思わないこと。
- 誘われても「ダメ。ゼッタイ。」と断る勇気をもつこと。
- 一人で悩まないで友人や家族に何でも相談すること。

心のケア、悩みの相談について、大学の学生相談室ではカウンセラーの相談を受け付けているほか、身体の不調などは保健室で相談を受けています。

相談は申し込み制で、相談日は毎週月・水・金の3日間です。保健室で受付しています。

電話078-794-5025(内線3015) メールstudent-counseling@kobe-du.ac.jp





◆ 教育後援会だより

教育後援会の後期の活動として特筆すべきことをご報告いたします。10月の大学祭時に大学と共催で秋季教育懇談会を開催し、78組104名の保護者の方々が来場され、所属の教員と日頃の学生生活等について懇談されました。

また、大学祭開催期間中には後援会役員による模擬店(カフェ)を出店し、ケーキ、コーヒー、ジュースなどを販売しました。例年肌寒い中での開催ですが、今年は暖かな天候に恵まれ、好評のうちに完売いたしました。

開学20周年にあたって教育後援会からの記念事業として、大学院側交差点にチタン製の大学の看板が11月15日の記念行事開催に併せて完成いたしました。



教育後援会寄贈看板



大学祭模擬店の様子

教育後援会奨学金の後期分奨学生の募集と選考が10月に行われ、3名に奨学金が給付されることが決定しました。

◆ 卒業式のお知らせ

2008年度卒業式は下記の日程で挙行します。また大学、教育後援会との共催で祝賀会「いってらっしゃい」も行います。

保護者の方々のご出席も可能ですが、卒業式会場の都合により、別会場において映像でご覧いただく場合があります。

卒業式：日時 平成21年3月20日(祝・金) 午前10時～
(受付開始9時30分～)

場所 吉武記念ホール

祝賀会：日時 平成21年3月20日(祝・金) 午後1時15分～

場所 体育館

◆ 寄附金の御礼

平成20年度「神戸芸術工科大学教育研究環境整備資金」募集事業におきましては、募集の趣旨をご理解いただき、ご父母の皆様をはじめ、卒業生、教職員の方々より多量なるご協力を賜りましたことを心より厚くお礼申し上げます。

この貴重な資金は、教育研究環境整備並びに福利厚生の実現に活用させていただきます。

教職員一同なお一層の努力を重ね、教育・研究活動の充実を図ってまいりますので、今後ともご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

国際交流

◆ 国際交流

奈良 東大寺とそうめん作り体験 ～留学生後援会研修交流旅行～

去る11月29日(土)、外国人留学生後援会が主催する研修交流旅行が行われました。本学留学生等19名、留学生のチューター学生3名、一般学生1名、後援会会員等(一般の方、教職員)12名の総勢35名で、紅葉色づく奈良を訪れました。

バス車内で、自己紹介や歓談を行いながら、まずはそうめん体験を行うため平城山、三輪そうめん山本へ。

そうめん生地を手延べする作業を体験しました。留学生はもちろん、日本人の参加者も初めての経験に、緊張しながらも楽しい時間を過ごしました。

昼食後は世界遺産でもある東大寺へ向かい、お寺の方から東大寺の説明を聞く機会もいただき、見学だけでは知ることの出来ない貴重なお話を聞くことができました。

各々今まで知っていた場所や、知っていた食べ物を新しい別の角度から知ることができ、留学生だけではなく、日本人の参加者にとっても貴重な体験ができました。



三輪そうめん作り体験の様子

◆ 身近な国際交流をしてみませんか?

留学生のチューター制度

現在、本学の外国人留学生は15カ国63名在籍しており、中でもロシア、レバノンやアイルランドなどは兵庫県内で本学にしか在学していません。(兵庫地域留学生交流推進会議調べ：2008年11月現在) 広範囲の国・地域から新入留学生が来日しますが、生活習慣や文化の違いでのとまどいのなか、大学での学生生活をするのは日本人以上に不安を抱えることと思います。そこで、日本人学生に気軽に相談できる「学生チューター制度」を設けています。

2008年度も7名の新入留学生がチューターを希望し、履修や授業のアドバイスを受けたり、ハロウィン、クリスマスなどの企画を通して留学生と日本人学生の交流が行われてきました。

大学では2009年度も、入学して来る留学生のために、「チューター制度」を実施します。友達感覚の身近な国際交流をしてみたい、自分自身の活動の幅を広げたいという人は、チューターになってみませんか。

チューターの募集は赤レンガ掲示板に掲示します。また詳しいことは、本館2階の教學課まで聞きに来てください。



2008年5月 チューターとの交流会レクリエーションの様子

KDU-Net(同窓会)から

KDU-Netでは、昨年11月15日に開学20周年行事として「おかえりなさい」芸工大ハタチのお誕生パーティを開催し、280名の卒業生が母校に集いました。

卒業生相互の交流、人脈づくりの場として今年で3年目となる卒業生交流会は、神戸と東京で開催することとなりました。

卒業生には案内状をお送りしますが、未着やご存知ない方がありましたら、KDU-Net事務局(教学課078-794-5025)へお知らせ下さい。

■ 卒業生交流会

神戸：2月15日(日) 16:00～

兵庫県立美術館内2階 レストラン(卒展会場)

神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1

078-265-6100(レストラン直通)

東京：2月22日(日) 13:30～

ゼストキャンティナーナ恵比寿

東京都渋谷区恵比寿1-22-19 03-5475-6291

KDU-Netのホームページでもお知らせしています。

<http://www.kdu-net.org/>



昨年の東京会場の模様

「キャリアデザインⅠ・Ⅱ」

本学では、自分は社会の中でどのようなライフワークを持って人生を送りたいのか、そのためにはどのような知識や経験が必要なのか、また、大学での学習において何に力を注ぐのか等を考えることを目的として、後期に1年生を対象に「キャリアデザインⅠ」、2年生を対象に「キャリアデザインⅡ」の授業を開講しています。授業内容は次のとおりです。

「キャリアデザインⅠ」授業内容

- ・各学科の進路について
- ・キャリアを考える
- ・働く意義を考える
- ・やりたいことは何だろう
- ・自分の強みと弱みを知ろう
- ・大学生の就職事情 など

「キャリアデザインⅡ」授業内容

- ・卒業生による講演
- ・新聞の読み方
- ・「自分らしさ」を知ろう
- ・職業について調べておこう
- ・3つの基礎力を鍛えよう
- ・なぜ「デザイン」が大切か など

今回は、11月12日の「キャリアデザインⅡ」の様相をレポートさせていただきます。

この日は環境・建築デザイン学科卒業生の梅原基伸さん（93年卒）と柳川奈奈さん（96年卒）に仕事の話を中心に現況を話していただきました。

梅原さんには「イマドキの家族のカタチ・住まいのカタチ」というテーマで、所属されている積水ハウスでの経験や学生時代に学んだ「こと」のデザインについて、話していただきました。

柳川さんには、建築設計を担当された「福井市立至民中学校」の話を中心に、学生時代から現在所属されている設計工房顕塾での体験を時系列に沿って話していただきました。

おふたりとも丁寧なわかりやすくお話しいただき、「先輩の体験談を聞かせていただいて、働くということがイメージできました」という内容の学生の感想も聞かれました。

梅原先輩、柳川先輩、ありがとうございました。また、本学に帰ってきてくださいね！



講演中の梅原さん



講演中の柳川さん

■内定報告 ～西平直樹君 [プロダクトデザイン学科4年]：(株)本田技術研究所内定～

先日、株式会社本田技術研究所にモデラーとして内定したプロダクトデザイン学科4年の西平直樹君に話を伺う機会がありました。今回は西平君の就職活動についてレポートします。

西平君が本格的に就職活動を開始したのは3年生6月のガイダンスに出席した頃だそうです。希望を自動車会社に絞っていた西平君は、そのときにキャリアセンターでホンダのサマープログラム（インターンシップ）の募集を知り、応募の準備を始めたそうです。そして、「ポートフォリオ（作品集）」制作に力を注ぎ、応募書類を作成して、ホンダのサマープログラムの審査を通過し、参加しました（このプログラムの審査は厳しくかなりの難関です）。このプログラムはとても有意義だったようで、モチベーションが高まり、意欲的に就職活動に取り組むことができたと言ってくれました。

その後、ポートフォリオをさらに充実させ、実習の授業に精力的に取り組んで力をつけ、デザイン実習、最終面接をクリアして、ホンダの内定を獲得しました。西平君、ホンダでの活躍を期待しています!!!



西平君(写真右)と(株)本田技術研究所人事担当の田幸さん
＜キャリアセンター来室時に入社後の話をいただきました＞

■西平君就職活動成功のポイント

1. 早い段階で希望会社を決め対策を立てたこと
2. 高いレベルの「ポートフォリオ（作品集）」を制作したこと

卒業・修了生の集大成

カオス2009 神戸芸術工科大学卒展〔学部・大学院〕2月に開催

学生皆さんの4年間あるいは2年間の学習の集大成が「カオス2009」として展覧されます。展示会場は兵庫県立美術館「芸術の館」ギャラリー棟、ファッションショーは神戸ファッション美術館オルビスホールで開催します。グラフィック、映像、立体・平面造形、CG、衣服、テキスタイル、インテリア、生活用具、建築、修景などの作品や研究論文を展示し、関連行事なども行われます。ぜひ、ご覧ください。

日時 2009年2月13日（金）～15日（日）

- 作品展示 2月13日（金）～15日（日）10時～18時
- 映像作品展示会 2月13日（金）、15日（日）10時～18時
14日（土）10時～13時

関連行事

- 選抜研究発表会 2月14日（土）15時～17時30分
- 大学院修士課程プレゼンテーション
2月15日（日）14時～15時30分
- ファッションショー 2月13日（金）①15時30分～②18時30分～
（13日は県立美術館と神戸ファッション美術館を結ぶシャトルバスを運行します。駐車場がありませんので車での来場はご遠慮ください）